

安全で豊かな学校給食の実現と生きる力を育む食教育の充実のため



学校栄養職員・栄養教諭の
一校一名の配置を求める要請署名

子どもたちは、栄養の偏りや欠食などの不規則な食事、輸入食品や加工食品の依存からくる「食」の安全性への不安など食生活の大きな変化の中で、生活習慣病の低年齢化に加え食に起因する健康問題が深刻化しています。

学校栄養職員・栄養教諭はこうした状況をふまえ、安全性に配慮し、日本の食文化を大切にしながら、子どもたちの成長・発達を保障する豊かな学校給食が実施できるよう努力を重ねてきました。今、学校給食に「安全・安心な地場産や国産の農畜産物を」と、生産者と連携した地産地消のとりくみがすすんでいるのもそのあらわれです。配置校では食生活の実態把握に努め、子どもたちに寄り添いながら他の教職員・保護者と連携し学校の教育活動と結びついた食育を進めています。「安全で豊かな学校給食を実施してほしい」「きめ細かな食の指導を充実してほしい」「食物アレルギー等、個人の課題に対応した給食を実施してほしい」という願いは、保護者や教職員の中で大きく広がっています。ところがこうした願いを、兼務の拡大や臨時職員の配置で解消しようとする地域が増えていることは問題です。学校給食や給食を通した食育を充実させるためには、一校一名の学校栄養職員・栄養教諭の配置が急務です。

栄養教諭制度が創設されて6年目、今年度は約670名が栄養職員から栄養教諭となりましたが、都道府県による配置人数の差も大きく、全体からみた配置割合はまだまだ少ない状況です。認定講習を受講し栄養教諭免許を取得したにもかかわらず、経験豊かな学校栄養職員からの任用が進んでいないのは残念なことです。学校教育の中での食育推進は子どもたちの実態からも今まで以上に求められています。すべての都道府県で栄養教諭制度が一層促進され、希望する学校栄養職員全員が、速やかに栄養教諭として任用されるよう以下のことを要請します。

要 請 項 目

1. 安全で豊かな学校給食の実現と給食を通した食教育の充実のため、一校一名の学校栄養職員・栄養教諭を配置すること。
2. 栄養教諭免許を取得した学校栄養職員については、希望者全員を速やかに栄養教諭に任用するよう自治体に働きかけられたい。さらに栄養教諭の配置がすすむよう予算計上を行うこと。
3. 認定講習会の開催については、すべての学校栄養職員が受講できるよう予算を復活すること。

2010年

全日本教職員組合（全教）
全日本教職員組合 栄養職員部

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1

氏 名	住 所